

# 経営比較分析表（令和元年度決算）

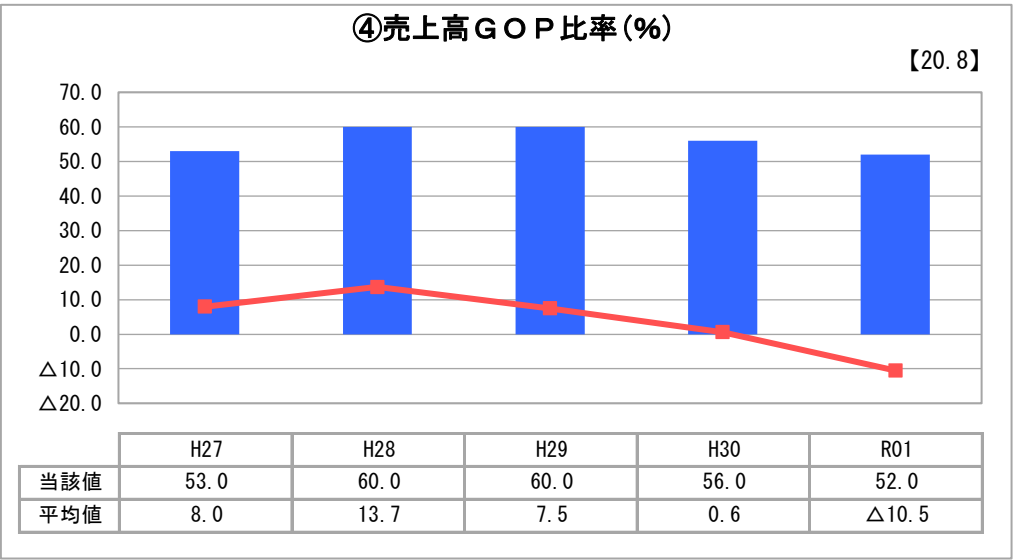
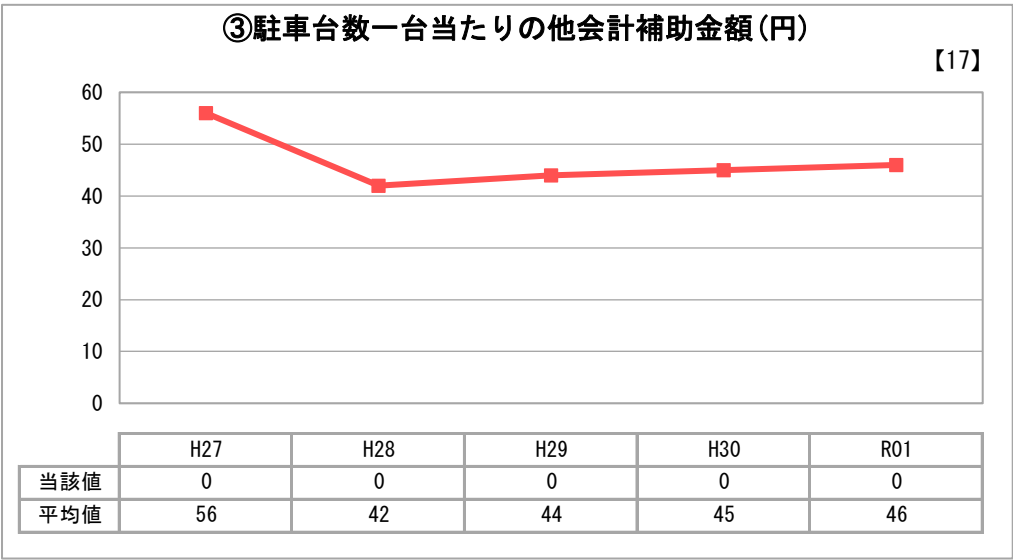
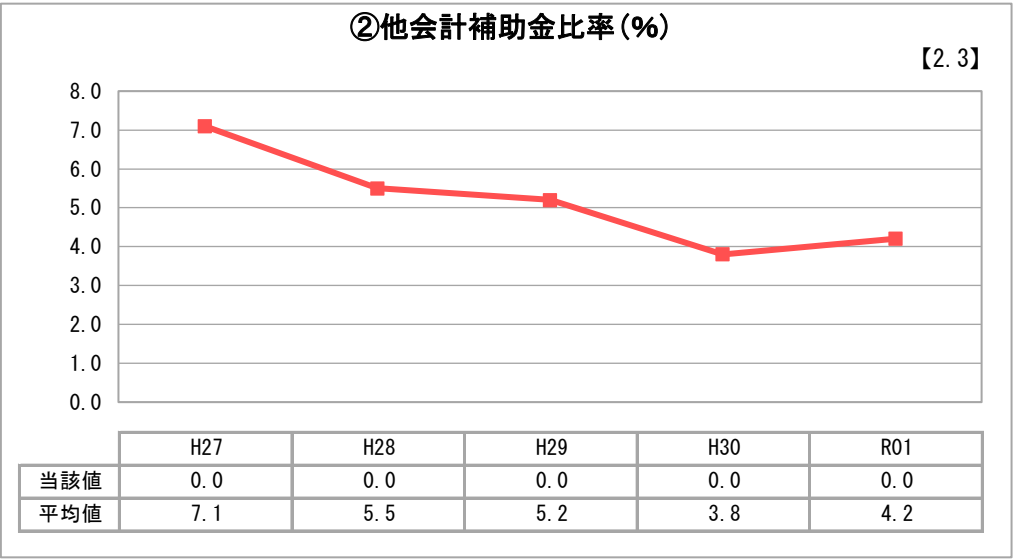
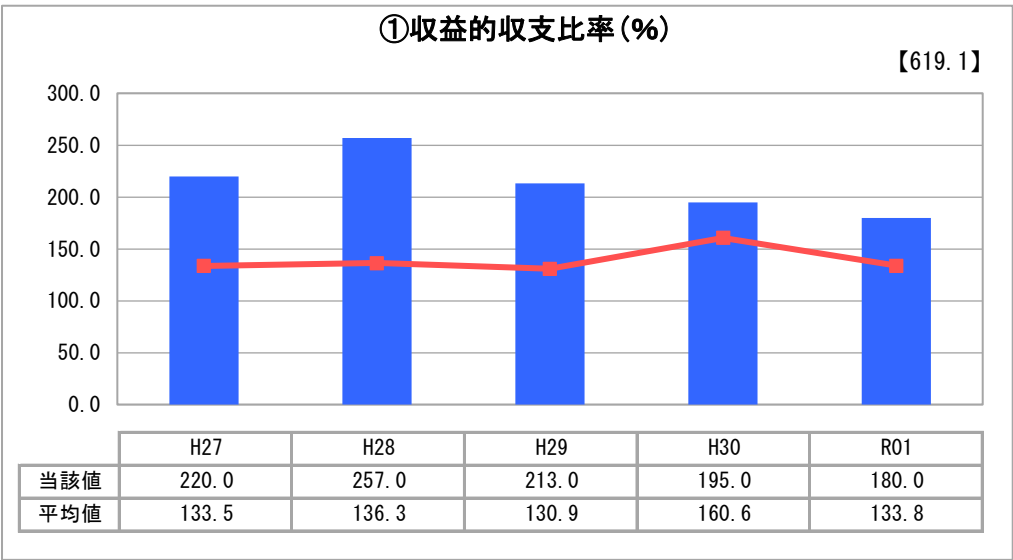
長崎県長崎市 長崎市松山町駐車場

業務名	業種名	事業名	類似施設区分	管理者の情報
法非適用	駐車場整備事業	-	A 2 B 2	非設置
自己資本構成比率(%)	種類	構造	建設後の経過年数(年)	
該当数値なし	届出駐車場 附置義務駐車施設	地下式	23	

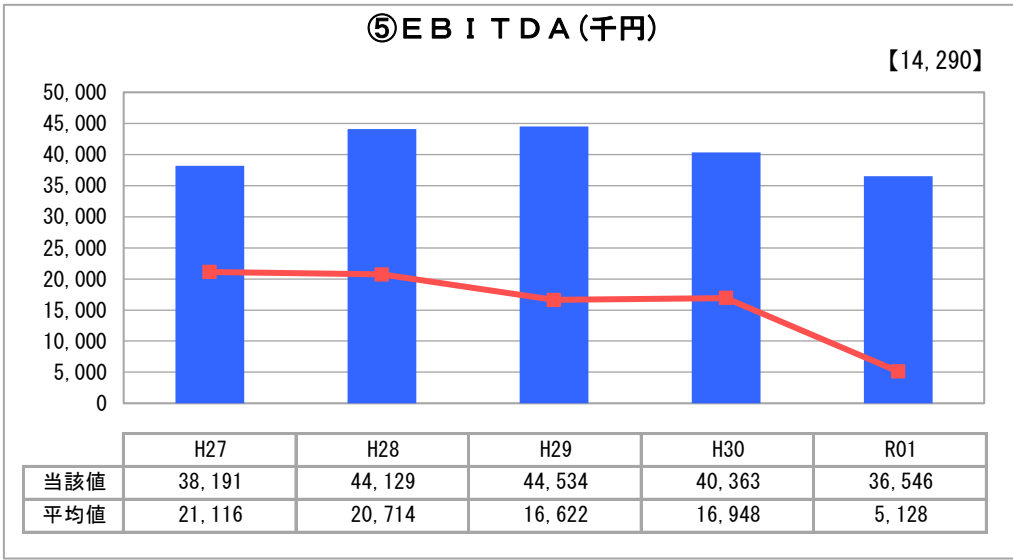
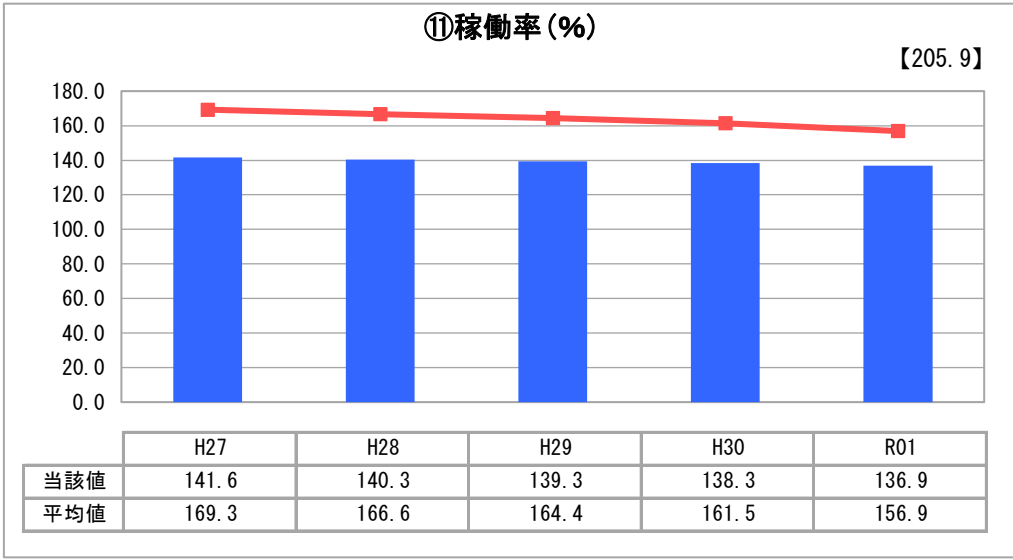
立地	周辺駐車場の需給実態調査	駐車場使用面積(㎡)
公共施設	有	9,301
収容台数(台)	一時間当たりの基本料金(円)	指定管理者制度の導入
298	1,500	代行制

■ 当該施設値（当該値）
— 類似施設平均値（平均値）
【】 令和元年度全国平均

## 1. 収益等の状況



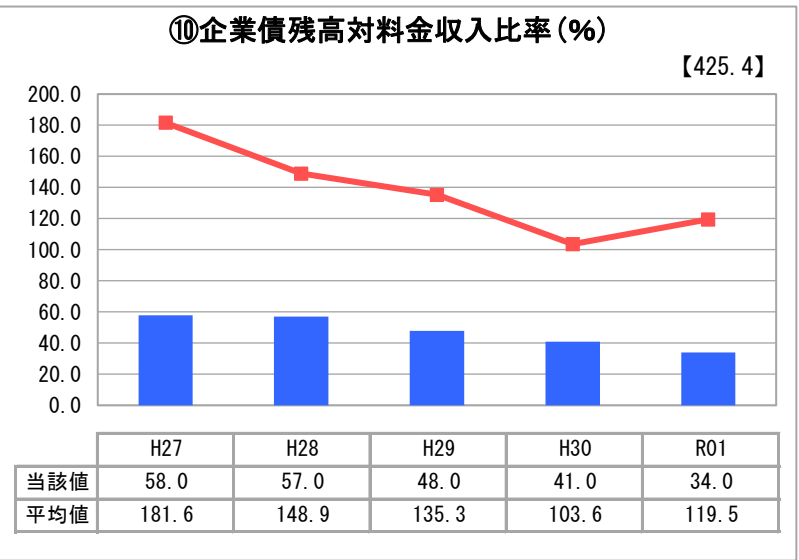
## 3. 利用の状況



## 2. 資産等の状況



⑦敷地の地価(千円)
1,548,151
⑧設備投資見込額(千円)
82,012



## 分析欄

1. 収益等の状況について  
収益は黒字となっており、また、他会計からの補助もないため、公営企業として安定した経営状況となっている。  
しかし、新型コロナウイルスの影響により利用が減少し、年度末（3月）の収益が若干減少しており、利用状況の改善見込みについて不透明な状況が続くことが想定される。  
今後も健全な経営を続けていくためには、将来の施設のあり方を踏まえて、施設の更新・投資に充てる財源を計画的に確保していく必要がある。

2. 資産等の状況について  
料金収入に対する企業債残高の割合が低く、一定の収益が継続して見込める状況であることから、必要な施設の更新・投資を行っていく必要がある。  
施設の更新・投資については、集中的な財政負担が生じないよう維持管理計画をもとに実施していく必要があり、躯体等の改修については、平成27年度に調査をし、緊急性のある損傷はないとされているが、長寿命化に向けた対応として、予防保全対策など改修を実施していく。  
また、精算機などの機器の更新については、耐用年数や状況をみながら計画的に維持管理・更新を行っていく必要がある。

3. 利用の状況について  
稼働率は平均と比較すると低いが、平日の通勤者によるパークアンドライド利用や、休日等のスポーツ施設利用者による利用が主であり、利用時間が長くなる傾向がある。  
このことから、安定した収益を得ているため、利用状況は健全であると言える。

全体総括  
収益は黒字となっており、資産状況も健全であるため、健全な経営状況である。今後も健全な経営を続けていくために、指定管理者制度（令和2年度から利用料金制を導入）において、利用者サービスの向上及び増収対策に努めるとともに、施設の更新・投資に充てる財源を計画的に確保していく。